

Ubuntu 版 Hinemos リリースノート

第 1.2 版

2013 年 12月 27日

株式会社アトミテック

改版履歴

版数	日付	内容
第 1.0 版	2013 年 4 月 10 日	初版発行
第 1.1 版	2013 年 5 月 27 日	3. 更新内容 <ul style="list-style-type: none"> 更新内容についての項目を追加 Ubuntu 版 Hinemos ver4.0.1 から ver4.0.2 への更新内容を追加
		5-1. Ubuntu 版 Hinemos マネージャ動作検証 <ul style="list-style-type: none"> 検証結果の内容を一部修正 検証環境の OS バージョン一覧を追加
		7-1-3. システムログ監視における既知の問題 <ul style="list-style-type: none"> システムログ監視における既知の問題を追加
	2013 年 6 月 4 日	6. 制限事項 <ul style="list-style-type: none"> 機能に関する制限事項を一部削除 (Windows サービス監視に関する項目)
		7. 既知の問題と対策 <ul style="list-style-type: none"> 監視サービスにおける既知の問題を削除
第 1.2 版	2013 年 12 月 27 日	4. 稼働環境 <ul style="list-style-type: none"> “動作検証”を“機能範囲”の説明に置き換え

目次

1.	本書について	4
2.	はじめに	5
2-1.	Ubuntu 版 Hinemos の特長	5
3.	更新内容	6
4.	動作環境・機能範囲・制限事項	7
4-1.	推奨スペック	7
4-1-1.	Ubuntu 版 Hinemos マネージャ	7
4-1-2.	Ubuntu 版 Hinemos エージェント	7
4-2.	必要パッケージ	7
4-2-1.	Ubuntu 版 Hinemos マネージャ	7
4-2-2.	Ubuntu 版 Hinemos エージェント	7
4-3.	機能範囲	8
4-3-1.	Ubuntu 版 Hinemos マネージャの機能範囲.....	8
4-4.	制限事項	9
4-4-1.	一括制御機能に関する制限事項	9
5.	既知の問題と対策	10
5-1-1.	一括制御機能における既知の問題	10
7-1-2.	システムログ監視における既知の問題	10

1. 本書について

- 本書は、株式会社アトミテックが提供する Ubuntu 版 Hinemos のリリースノートです。本製品の特長、稼働環境、動作検証範囲、制限事項、既知の問題と対処についてまとめたものです。
- 本書は、Ubuntu 版 Hinemos をインストール及び利用する前に一読して下さい。
- 本書の記載内容に関して、ご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら弊社までお知らせください。
- 本書の内容の一部または全部の複製、転載、再配布を禁止します。
- Hinemos は、株式会社 NTT データの登録商標です。
- Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標です。
- Oracle は、米国 Oracle Corporation の登録商標です。
- Debian は、Software in the Public Interest, Inc. の登録商標です。
- Ubuntu は、Canonical Ltd. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- 本文中に R マークは表記しておりません。

2. はじめに

2-1. Ubuntu 版 Hinemos の特長

Ubuntu 版 Hinemos とは、株式会社 NTT データが公開しているオープンソース統合運用管理ソフトウェア Hinemos を株式会社アトミテックが Ubuntu 対応を施し公開しているものです。

従来の Hinemos が提供する Linux 用マネージャ及び Linux 用エージェントは、Red Hat Enterprise Linux(以下、RHEL)や Oracle Linux といった RedHat 系 Linux のディストリビューション上でのみ利用する事が可能でしたが、本製品で提供する Ubuntu 版 Hinemos マネージャ及び Hinemos エージェントは Debian 系ディストリビューションである Ubuntu 上で全ての機能を利用する事ができます。

本製品を利用する事で、複数の Ubuntu がインストールされたコンピュータに対して状態監視・性能管理・ジョブ管理・一括制御を容易に行う事ができます。また、従来の Hinemos がインストールされた RHEL 等の他 OS との混在環境でも利用可能であるため、様々な運用環境へ柔軟に対応することができます。

3. 更新内容

バージョン	日付	内容
4.0.1	2013年4月10日	リリース
4.0.2	2013年5月27日	・一括制御 起動と停止の apache 起動及び apache 停止用に Ubuntu 版 Hinemos マネージャにスクリプトを追加 (上記の変更により、Ubuntu 版 Hinemos マネージャから Ubuntu 版 Hinemos エージェント及び従来の Hinemos エージェントへの apache の起動停止をコマンドの変更無しで一括して実施できるように改修)
	2013年6月4日	・5月27日リリース版で発生していたリソース監視、性能管理が失敗するバグを修正
4.1.0_00	2013年12月27日	Hinemos 4.1.0 対応版の初版

4. 動作環境・機能範囲・制限事項

4-1. 推奨スペック

Ubuntu 版 Hinemos を動作させる環境の推奨スペックは、以下のとおりです。

4-1-1. Ubuntu 版 Hinemos マネージャ

項目	構成
対応機種	Intel x86, AMD64 アーキテクチャを持つ PC
対応 OS	Ubuntu 12.04 LTS (32bit/64bit)
CPU	2Ghz, 1 コア以上
ディスク容量	5GB 以上
メモリ容量(監視台数 100 台未満)	1GB 以上
メモリ容量(監視台数 100 台以上)	2GB 以上
ネットワークインターフェース	1 個以上

4-1-2. Ubuntu 版 Hinemos エージェント

項目	構成
対応機種	Intel x86, AMD64 アーキテクチャを持つ PC
対応 OS	Ubuntu 12.04 LTS (32bit/64bit)
CPU	1Ghz, 1 コア以上
ディスク容量	1GB 以上(Ubuntu 版 Hinemos に関する部分のみ)
メモリ容量	256MB 以上
ネットワークインターフェース	1 個以上

4-2. 必要パッケージ

Ubuntu 版 Hinemos を動作させる際にインストールが必要となるパッケージは以下の通りです。

4-2-1. Ubuntu 版 Hinemos マネージャ

- openssh-server
- openjdk-7-jre-headless
- unzip

なお一括制御を利用する為には、上記に加え以下のパッケージのインストールが必要です。

- expect
- krb5-clients

4-2-2. Ubuntu 版 Hinemos エージェント

- openssh-server
- openjdk-6-jre-headless または openjdk-7-jre-headless
- unzip
- snmpd

4-3. 機能範囲

4-3-1. Ubuntu 版 Hinemos マネージャの機能範囲

Ubuntu 版 Hinemos マネージャから、Ubuntu 版 Hinemos エージェント、RHEL 版 Hinemos エージェント、Windows 版 Hinemos エージェントのそれぞれに対して利用可能な機能は、下表のとおりです。

なお、エージェントを必要としないその他の機能(通知、カレンダー、メンテナンス、アカウント機能等)については、RHEL 版 Hinemos マネージャと同様に、全ての機能を利用可能です。

機能		エージェント環境		
		Ubuntu	RHEL	Windows
監視・性能	Hinemos エージェント監視	○	○	○
	HTTP 監視	○	○	○
	リソース監視	○	○	○
	PING 監視	○	○	○
	サービス・ポート監視	○	○	○
	プロセス監視	○	○	○
	SNMP 監視	○	○	○
	SQL 監視	○	○	○
	システムログ監視	○	○	○
	ログファイル監視	○	○	○
	カスタム監視	○	○	○
	SNMPTRAP 監視	○	○	○
	Windows サービス監視	—	—	○
	Windows イベント監視	—	—	○
ジョブ	ジョブ実行	○	○	○
	ファイル転送ジョブ実行	○	○	—
一括制御		△	△	—

○：利用可能

△：利用可能だが制限事項あり（「4-4-1. 一括制御機能に関する制限事項」を参照）

—：利用不可(機能なし)

4-4. 制限事項

4-4-1. 一括制御機能に関する制限事項

UbuntuとRedHat系ディストリビューションでは、一括制御機能で使用するパッケージに互換性がないほか、Ubuntuがデフォルトでリモートからのrootアクセスを禁止していることから、Hinemos製品にデフォルトで提供されている一括制御機能を問題なく使用することができません。一括制御機能を使用したい場合は、下記のマニュアルやスクリプトを参考にして、必要な一括制御処理をご自分で登録してください。

○マニュアル

Hinemos ver4.1 ユーザマニュアル 第 1.0 版
「10 一括制御機能」

○スクリプト ※マネージャサーバ上にデフォルトで用意されているもの

```
/opt/hinemos/lib/cr/agent_install.sh  
/opt/hinemos/lib/cr/cp.sh  
/opt/hinemos/lib/cr/file_transfer_setting.sh  
/opt/hinemos/lib/cr/mkdir.sh  
/opt/hinemos/lib/cr/rm.sh  
/opt/hinemos/lib/cr/rpminstall.sh  
/opt/hinemos/lib/cr/useradd.sh  
/opt/hinemos/lib/cr/usermod.sh
```

5. 既知の問題と対策

Ubuntu 版 Hinemos における既知の問題と対処方法は以下の通りです。

5-1. システムログ監視における既知の問題

問題	対処方法
Ubuntu 版 Hinemos マネージャサーバへ rsyslog パッケージをインストールした場合、デフォルトの設定では 514/TCP ポートを使用できず syslog の転送に失敗します。	Ubuntu の rsyslog パッケージのデフォルトの設定では、rsyslogd を syslog ユーザで実行する設定になっているため特権ポート(1023 番以下のポート)が使用できず、syslog メッセージの受信に失敗します。 /etc/rsyslog.hinemos.conf の \$InputTCPServerRun の設定を 1024 以上に変更し、rsyslog の再起動を行って下さい。併せて、syslog 送信側のエージェントも変更後のポートを使用するように変更してください。 もしくは、514/TCP ポートを使用したい場合は、マネージャ側の/etc/rsyslog.conf の \$PrivDropToUser の設定を特権ポートを使用できるユーザに変更し、rsyslog の再起動を行って下さい。 (ユーザ変更によるセキュリティリスクを伴いますので、セキュリティポリシーを十分にご確認の上ご実施ください。)

製品名	: Ubuntu 版 Hinemos
公開日	: 2013 年 12 月 27 日
お問い合わせ先	: 株式会社アトミテック Hinemos 問い合わせ窓口 E-mail : sales@atomitech.jp
第 1.2 版	2013 年 12 月 27 日